

第5回 鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会

令和3年12月23日
鞍手町中央公民館 第1研修室

1. 開会

2. 議事

(1) 鞍手町教育委員会への第1次提言(案)の確認

(2) 鞍手町教育委員会への第1次提言

(3) 統合の形態について

3. その他

第6回 開催日 令和 年 月 日 () 時 分～

4. 閉会

配布資料

【資料1】鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会から鞍手町教育委員会への第1次提言(案)

【資料2】統合を検討する上での留意点

【資料3】統合校数別 児童数・学級数の状況



令和3年12月23日

鞍手町教育委員会

教育長 外園 哲也 殿

鞍手町立小学校の統合に
向けたあり方検討委員会
会長

鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会から
鞍手町教育委員会への第1次提言

鞍手町の実情に応じた最適な教育環境を検討・協議した結果について、下記のとおり提言します。

記

子ども達の最適な教育環境を考えると、6小学校の全てを存続するのではなく、何らかの形で統合すべきです。

統合を進める上では、子ども達が統合後の学校にスムーズに適応できるよう、必要な手立てを講じてください。また、統合前の小学校の歴史や伝統などが統合後の小学校へ可能な限り継承されるよう努めてください。

統合後の小学校の校数や場所等の統合の形態については、今後、本委員会での検討・協議を継続し、第2次として提言します。

統合を検討する上での留意点

1. 校数に関するメリット・デメリット

1校に統合する場合のメリット	複数校に統合する場合のデメリット
児童数の減少が見込まれる中、学年毎の複数学級や児童数を確保できる可能性が最も高い。	校数が多くなればなるほど、1学年1学級又は複式学級となる可能性がある。
専科、指導方法工夫改善、課題対応職員等の加配教職員の配置を受けやすい。	1校あたりの児童数が少なくなることで、児童支援加配を除き、加配教職員の配置を受けにくい。
投資的経費を集中できる。	投資的経費が分散する。

1校に統合する場合のデメリット	複数校に統合する場合のメリット
児童・保護者にとって、転校という選択肢がない。	児童・保護者にとって、転校という選択肢がある。
保護者にとって小学校の選択肢がない。	教育方針や学校規模等に特色を持たせることができ、保護者の選択肢が広がる。
大勢で学ぶことが苦手な児童に対応しづらい。	学校規模に違いを持たせた場合、大勢で学ぶことが苦手な児童に対応できる。
教職員の配置に、町教育委員会の意向を反映させにくい。	教職員の配置に、町教育委員会の意向を反映させやすい。

2. 関係する制度

(1) 通学区域制度について（複数校に統合する場合）

①就学校の指定について（学校教育法施行令第5条）

市町村教育委員会は、市町村内に小学校が2校以上ある場合、就学予定者が就学すべき小学校を指定することとされている。

②通学区域

就学校の指定をする際の判断基準として、市町村教育委員会があらかじめ設定した区域をいう。道路や河川等の地理的状況等、地域の実態を踏まえ、各市町村教育委員会の判断に基づいて設定される。

③学校選択制（学校教育法施行規則第32条第1項）

市町村教育委員会は、就学校を指定する場合に、就学すべき学校について、あらかじめ保護者の意見を聴取することができる。この保護者の意見を踏まえて、市町村教育委員会が就学校を指定する場合を学校選択制という。主に以下のようなタイプがある。

ア) 自由選択制

当該市町村内の全ての学校のうち、希望する学校に就学を認めるもの

イ) 特認校制

従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの

(2) 地方交付税交付金

地方自治体の財政力格差を調整するために、国が市町村に交付する交付金。

小学校に関しても、児童数、学級数、学校数に応じて、交付金額が算定されるため、通常の学校を運営する費用については、1校に統合しても、複数校に統合しても、統合の状況に応じて交付額が増減するため、理論上は町の財政運営に影響を与えない。ただし、施設の新規整備や更新に係る費用については見込まれていない。

なお、スクールバスを導入した場合、1台あたり5,856千円が人件費や燃料費等として交付される。

統合校数別 児童数・学級数の状況

1. 1校に統合

校別		学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	合計
		男	女	合計	学級数						
統合A小学校	児童数	男		33	45	49	49	55	42		273
		女		30	44	37	58	54	72		295
		合計		63	89	86	107	109	114		568
	学級数		2	3	3	4	4	4	5	25	

2. 2校に統合（均等）

校別		学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	合計
		男	女	合計	学級数						
統合A小学校	児童数	男		17	23	25	25	28	21		139
		女		15	22	19	29	27	36		148
		合計		32	45	44	54	55	57		287
	学級数		1	2	2	2	2	2	2	13	
統合B小学校	児童数	男		16	22	24	24	27	21		134
		女		15	22	18	29	27	36		147
		合計		31	44	42	53	54	57		281
	学級数		1	2	2	2	2	2	2	13	

3. 2校に統合（標準規模＋小規模）

校別		学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	合計
		男	女	合計	学級数						
統合A小学校	児童数	男		28	41	46	42	50	40		247
		女		25	40	30	55	48	64		262
		合計		53	81	76	97	98	104		509
	学級数		2	3	3	3	3	3	2	19	
統合B小学校	児童数	男		5	4	3	7	5	2		26
		女		5	4	7	3	6	8		33
		合計		10	8	10	10	11	10		59
	学級数		1	1	1	1	1	1	1	2	8

4. 3校に統合（均等）

校別		学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	合計
		男	女	合計	学級数						
統合A小学校	児童数	男		11	15	16	16	18	14		90
		女		10	15	12	19	18	24		98
		合計		21	30	28	35	36	38		188
	学級数		1	1	1	1	2	2	2	10	
統合B小学校	児童数	男		11	15	16	16	18	14		90
		女		10	15	12	19	18	24		98
		合計		21	30	28	35	36	38		188
	学級数		1	1	1	1	2	2	2	10	
統合C小学校	児童数	男		11	15	17	17	19	14		93
		女		10	14	13	20	18	24		99
		合計		21	29	30	37	37	38		192
	学級数		1	1	1	2	2	2	2	11	

委員の皆様からいただいた質問・要望・意見等

1. 要望・意見等

全委員が統合に「賛成」と意見を出したことによって話がだんだん進んでいくんだろうと思います。

統合に向けての話しを進めていく中で、それぞれの小学校に向けて保護者の希望することにも耳を傾けた方が良いのではないかと思います。残したいもの・事など、小学校に関わっている保護者や教職員にしかわからないことがあるように思います。